



Matsunoyama Academy



Since2017

2024年5月7日発行

第2号

〒942-1406 新潟県十日町市松之山 1162 番地3 TEL025-596-2014 FAX596-2149

<http://www.edu.city.tokamachi.niigata.jp/matsunoyamagakuen/>

雪里の山菜採り

副学園長 渡辺 進

旧松之山中学校時代から受け継がれてきた山菜採りが今年も行われます。数年前にテレビ番組で紹介されたこともあり、全国的に有名になった学校行事です。おそらく45年前から途切れることなく続いているようです。改めてまつのやま学園、そして、松之山地域ならではの教育活動を守っていきたいと感じます。

さて、創立8周年を迎えたまつのやま学園の使命とは何か、創立にかかわってこられた方や地域の願いを思い起こしています。一つは、「小中一貫校としての使命」です。この形態が、9年間という幅広い年齢層の子どもたちのまじわりが、よりよい成長を育む源となっています。小・中学校の特色を生かしつつ、教職員が職員室を一つにして、教育目標『生き生きとした子ども』を念頭に置き、ホップ・ステップ・ジャンプの教育期の発達段階を最大限に生かし、切れ目のない教育活動を充実させています。二つ目は、「松之山地域の学校としての使命」です。時代の流れの中で、各地区の小学校、中学校が統廃合を繰り返し、今のかたちになりました。多くの松之山を愛する方の思いをしっかりと胸に刻みます。これまでも、これからもこのまつのやま学園に対して変わらぬご支援をいただいているご恩を受け止めて、地域の学校という意識を再確認し、学園にとっても地域にとっても幸せで互恵性のある学園づくりを推進します。

新たなステージとして、「ゆきさと留学」が本格的に動き出しました。既に9名の子どもが、まつのやま学園と松之山地域でともに挑戦しながら成長しています。うち1名は、藤倉ハウス（親元を離れ自立・自律して入寮）です。実に全児童生徒の1割を超える子どもが他地域からの転入ということになります。※雪里留学とは、松之山地域外に在住する小・中学生がまつのやま学園に就学することをいいます。学区外就学・地域外就学の手続きを行い、市教育委員会が許可することで雪里留学が始まります。

今、まつのやま学園は地域内外に向けて開かれたまなびの場となり、いかなる子どももウエルカムであると明言しているかのようです。ここでの学びは、人それぞれの違いを自然に受け入れ、支えあい、互いに認めあう共生社会へとつながっていくとでしょう。松之山の豊かな自然と文化、過去の出来事に学び、それらを未来に生かしていくなくてはならないと思います。



< 4月の様子 >

4月9日(火) 入学式



まつのやま学園に3名の新入生が入学しました。本年度は、20名のご来賓にお越しいただき実施することができました。9年生に先導された新入生は、小さな体に大きな夢や希望を胸に抱え、元気に入場しました。学級担任から名前を呼ばれると、大きな返事ができたり、上級生からの学園生活について説明では、しっかりと話を聞いたりしていました。

これから9年間の学園生活が始まります。「エンジョイ&チャレンジ」で、仲間と共に、充実した日々を送ってほしいと思います。



4月10日(水)つくし会オリエンテーション

総務の進行で、各専門委員会、緑の少年団、部活動が、活動内容や目標について説明をしました。児童生徒それぞれが所属する場所で自分の役割を果たすためにはどうすればよいのか考え行動していくことで、社会性を向上させていきます。



4月12日(金)1年生を迎える会

1年生を迎え、全校の縦割り班である「チャレンジ班」毎に、仲間づくり活動をしました。チャレンジ班で1年生にインタビューした内容をホワイトボードに書いて全校に紹介したり、HSJの期ごとに1年生と仲間づくりをしたりしました。これから1年生から9年生まで、異学年での交流を通して仲間と共に成長していきます。



4月25日(木)緑の少年団入団式

1年生が入団しました。小学部全員が所属していますが、4年生がリーダーとなり活動をしていきます。その後、キヨロロの富塚さんからクイズなどを交えながら松之山の自然や生き物について、お話を聞きました。松之山の自然を守り、大切に活動に取り組んでいきます。



〈まつのやまタイム協働推進委員会〉

22日(月)に「まつのやまタイム(生活科・総合的な学習の時間)」にご協力いただく協働推進委員の方と「まつのやまタイム協働推進委員会」を開催しました。今年度の年間活動計画を協働推進委員と学級担任とが協議・確認しました。「まつのやまタイム」は学園の教育課程の中核です。協働推進委員の方々と一緒に、松之山の人や自然に学ぶことで、自分なりにテーマを探求していきます。探求をしていくことで、自らの生き方についても考えていきます。



学年	テーマ	協働推進委員
1年 2年	「ふみだして 『すてき』をたくさん さがそうよ！」 松之山を探検して、四季の移り変わりを調べたり、みんなで夏野菜・冬野菜を栽培したりして、松之山の「すてき」を堪能します。	小野塚 和輝 さん
3年	「まつのやま知ろう!発信しよう!」 松之山のものづくりや自然を知り、その魅力を発信していきます。	佐藤 一善 さん
4年	松之山の「ステキ!」を発見しよう! ～「大地の芸術祭」に集う人々～ 「大地の芸術祭」の作品や関連施設を見学し、運営する人々や観光客、地域の人々への取材を通して、松之山や十日町の良さを発見します。	村山 祐一 さん
5年	まつのやまを楽しく・味わう ～米作りを通して～ 米づくりを通して松之山の食文化の魅力を発見し、楽しむ姿を目指します。	小口 修 さん
6年	まつのやまを楽しく・味わう ～食文化を通して～ 食文化を通して松之山の郷土料理を味わい、ふるさとを愛する姿を目指します。	小野塚 みつえ さん
7年	松之山の『現在(いま)』と『未来』を支える人々 松之山の自然や文化、産業に携わる人と出会い、様々な生き方に触れ、自分の生き方をより広い視野で考えていきます。	村山 暁 さん
8年	「はたらく」ということ 職場体験や産業祭を通して、「はたらく」ことの意味や意義を自分なりに見出し、将来に対する意欲を高めます。	草村 慶子 さん
9年	ふるさと(松之山)を支える私たちの未来 日本や世界の人・地域・文化の学びから、世界・全国とのつながりと松之山や自分の未来を考えます。	志賀 義雄 さん 福原 なつき さん



<全校朝会>

22日(月)の全校朝会での副学園長講話で「私と自転車」と銘打って、自転車にまつわる話がありました。その後、松之山駐在所の小林さんにお越しいただき、自転車の安全な乗り方について教わりました。主なポイントは、

◇ 整備

- ・ ライトは点くか
- ・ タイヤの空気はちょうどよいか
- ・ ブレーキが効くか
- ・ サドルにまたがったとき、足の着く高さになっているか
- ・ 反射材は付いているか

◇ 乗り始め

- ・ 後ろを確認する

◇ 交差点

- ・ 一時停止をする
- ・ 止まるときは、左から足をつける
 - *左側通行なので右から降りると車と接触する可能性があるため
- ・ 左右確認してから、渡ったり曲がったりするようにする



<授業参観・期及び学級懇談会・PTA 総会・部活動保護者>

お忙しい中、多くの皆様にお越しいただきありがとうございました。授業参観では、児童生徒の学校での様子をご覧いただきました。PTA 総会では、田邊 PTA 会長様より入学式で1年生への祝辞を引き合いに出しながら、児童・生徒・保護者・職員・地域が一体となり大冒険に繰り出そうとお話がありました。今年度も PTA 活動に、引き続きご協力よろしくお願いたします。

5月の行事等の予定

- 8日(水) ステップ・ジャンプ期山菜採り
- 9日(木) つくし総会に向けた学級討議
- 10日(金) ホップ期春の遠足、部活動集会
- 13日(月) 耳鼻科検診
- 14日(火) 内科検診
- 15日(水) 4-9年つくし総会
- 17日(金) 1・4・7年心臓検診
- 20日(月) ステップ・ジャンプお弁当の日
- 25日(土) 運動会
- 26日(日) 運動会予備日
- 27日(月) 振替休日
- 28日(火) 歯科検診
- 30日(木) 眼科検診



6月の行事等の予定

- 4日(火) 9年修学旅行(～6日) 関西方面
- 5・6年 人権教室
- 6日(木) 小学部春の在来種保護活動
- 7日(金) 中学部家庭学習
- チャレンジウィーク(～12日)
- 10日(月) まつのやまいきいき週間(～16日)
- 11日(火) 避難訓練
- 13日(木) 家庭学習チャレンジウィーク(～26日)
- 14日(金) フリー参観日(2～5限)
- SJわたしの主張校内発表会
- 20日(木) 第1回学校運営協議会
- 21日(金) PTA 懇親会
- 26日(水) 中: 定期テスト 小: 漢字力テスト
- 27日(木) 中: 定期テスト 小: 計算力テスト